

©新造・サンライズ

Illustrated by Mika Aokata



MSM-10 ZOCK

PRINCIPALITY OF ZEON PROTO-TYPE AEMULOUS



HG

UNIVERSALCENTURY



BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

この商品には、ゾックが1セット入っています。パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なる場合がございます。

■ MSM-10 ZOCK

PRINCIPALITY OF ZEON PROTO-TYPE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSM-10

TOTAL HEIGHT : 23.9m

WEIGHT : 167.6t

TOTAL WEIGHT : 229.0t

GENERATOR OUT PUT : 3849kw

MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY

ARMAMENTS : PHONON MASER CANNON

MEGA PARTICLE BEAM GUN

IRON NAIL



1/144 SCALE

HG
UNIVERSALCENTURY

Scanned by Dalong.net

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

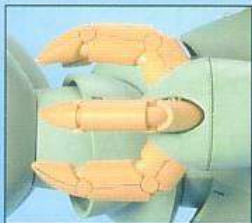
●写真の完成品は塗装してあります。

0150529

**BAN
DAI**

MSM-10 ZOCK

MSM-10 ゾックは、ジオン公国軍が開発した水陸両用MSの中でも最も異様な形状を持っている。いわゆる手足に相当するユニットはあるものの、もはやMSと呼ぶのはばかられるほど、全く異質な代物となっている。特に脚部には、機体をザクの数倍ジャンプさせる程の推力を持つ大型ロケットエンジンとホバーユニットが内蔵されており、構造的にもいわゆる「歩行」は不可能だとされている。当然のように陸上における運動性は劣悪で、180°回転の速度が実用レベルに達しておらず、前後がほぼ同一の構造をしているのは、後方の敵機に対応するための苦肉の策と言われる程で、この機体を指して「見かけ倒しでなければいいが」あるいは「局地戦用移動メガ粒子砲だ」と誇る将兵もいたようだ。無論、ゾックがこのような形態を獲得するに至るには理由があり、その主たるものは、公国軍においてMA構想が確立してゆく過渡期に設計が進行したためだとされている。事実、水中航行能力に関しては、数ある水陸両用機のなかでも随一の整流効果を誇っている。加えて、メガ粒子砲の搭載数も最多であり、機体の前面と後面に4門ずつと頭部に1門の計9門のメガ粒子砲を搭載している。のみならず、反応炉がザク4機分の出力を持っているため、連邦製のビーム・ライフル並に連射する事ができ、その火力は単純計算で当時の公国製MS一個中隊分と同等であったとさえ言われている。本機の生産計画は、MSとしてはなく、小型MAとして考えられていた節があり、グラブロと同様、キャリフォルニア・ベースの



アイアン・ネイル

3本のクローで敵に斬撃/打突を加えるほか、簡易マニピュレーターとしても機能する。実際には砲を使用する際のアンカーとしても考えられていたようだ。

SPEC

型式番号：MSM-10
 頭頂高：23.9m
 本体重量：167.6t
 全備重量：229.0t
 ジェネレーター出力：3849kw
 装甲材質：超硬スチール合金
 武装：フォノンメーザー砲
 メガ粒子砲
 アイアン・ネイル

メガ粒子砲

ジェネレーター直結型のメガ粒子砲。エネルギーCAPシステム並の連射が可能。

フォノンメーザー砲

公国軍による呼称通りなら「音響量子（振動を量子化したボース粒子）を増幅して誘導放する兵器」だが、実際にはメガ粒子砲であり、周囲のスリットは水流ジェット用のインテークであった。ちなみに「メーザー=MASER」のみで、光の代わりにマイクロ波を使用したレーザー同様の機器および効果などを意味する。

モノアイ

レールに沿って光学端末を高速で移動させる主要撮像装置。移動速度は公国製MSの中でもトップクラス。

フェアリングシェル

公国軍の将兵からは「クチバシ」などと呼ばれる整流殻。速度や機動に応じて展開角度を変え、機体周辺の抵抗や流体特性を調整している。

脚部ホバー

陸上における移動のため、地表から数十センチほど浮上可能なホバー機構が装備されている。歩行脚としてはほとんど機能しないが、緊急時にはロケットを使用してザク以上のジャンプが可能。



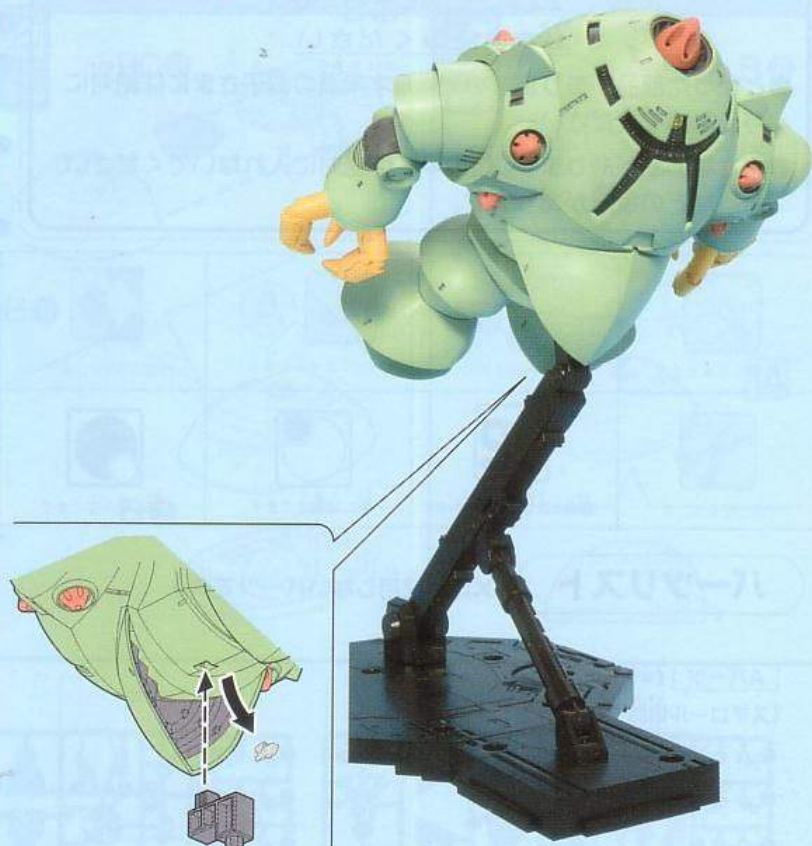
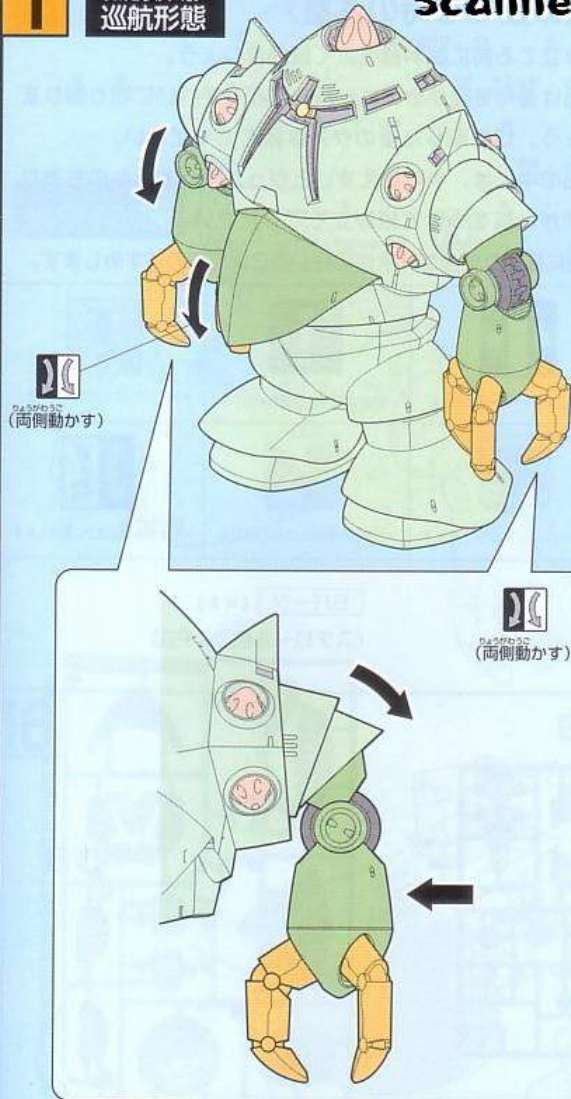
Scanned by Dalong.net

MSM-10 ゾック

MSM-10 ゾックは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士編」などに登場する水陸両用MSである。U.C.0079年11月下旬、連邦軍の本拠地ジャブローへの襲撃を計画するジオン公国軍は、先発隊として水陸両用MSを中心とする特務部隊を編成し、ホワイトベース=木島が消えたポイントを基点にジャブローへの侵入路を捜索していた。「見つけたぞ、ジャブローの入り口だ。この金属反応がなげかり見逃していただろうだ」。ゾックを駆るポラスキニフは、連邦軍の反撃が無い事を確認し、指揮官のシャアへと報告を送る。しばらくの後、赤いズゴックと二機のゴッグが接触してきた。「ポラスキニフ、首尾はどうなのだ?」「はっ、爆薬を仕掛けたところあります。突入しますか?」少し離れたところにも侵入路がある事を聞いたシャアは、二機のゴッグをその場に残し、さらに上流にあるもうひとつの入り口から、本隊の襲撃に乗じて基地内へ潜入する両面作戦を敢行する。一方、ジオン公国軍襲来の報を受けたホワイトベース整備班のウッディ大尉は、許嫁であるマチルダの遺志を継ぐべく、ホワイトベースを守るためホバー機ファンファンで特務部隊の迎撃に向かう。「ジオンめ、ジャブローから出て行け!」「ウッディ大尉、無理です!」アムロの制止を振り切って、ウッディはズゴックにミサイルを放つ。「冗談ではない!!」シャアは無造作に貧弱なホバー機をたたき落とす。しかしウッディの放ったミサイルはズゴックに一矢報いていた。「メインカメラをやられたか。ええいっ、ポラスキニフ、聞こえるか? 援護を頼む」追いつがるガンダムの前にゾックが立ちちはだかる。「邪魔をするな、シャアを討たせろ!!」「うおおっ!!!」ジャブローの地下坑道にポラスキニフの雄叫びが響き渡る……!!



●写真イメージです。



※バンダイプラモデル
アクションベース1
ベつうしよ
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

ジャブローの戦場を再現せよ!!

※価格はメーカー希望小売価格です。

ジャブロー基地を襲ったジオン軍MSと迎撃に出た連邦軍MS



No.008
「ゴッグ」HG
価格840円(税5%)
ゴッグは、MSMというカテゴリーにおいて第1期水陸両用MSとして開発され、ビーム兵器の搭載により、投入当初からその性能を遺憾なく発揮した。



No.078
「アッガイ」HG
価格1,470円(税5%)
アッガイは水中航行時には2基あるジェネレーターのうち1基のみでも稼働できたため、熱センサーに感知されにくいという特性を持っていた。



No.019
「シャア専用ズゴック」HG
価格735円(税5%)
ゴッグなどの実働データをもとに開発された機体で、中でもSタイプは、ジェネレーターの高出力化や運動性の改善、装甲の強化などが計られている。



No.020
「ジム」HG
価格735円(税5%)
RX-78の基本構造に基づいて再設計され、ジャブローにおける第一次生産機として、地上用の機体が42機生産、初期の部隊編成に使用された。



No.021
「ガンダム」HG
価格1,050円(税5%)
「V作戦」において検討されたMSに求める素案を、可能な限り盛り込んだ結果、脅威的なスペックを持つに至った連邦軍初の実戦型の試作MS。

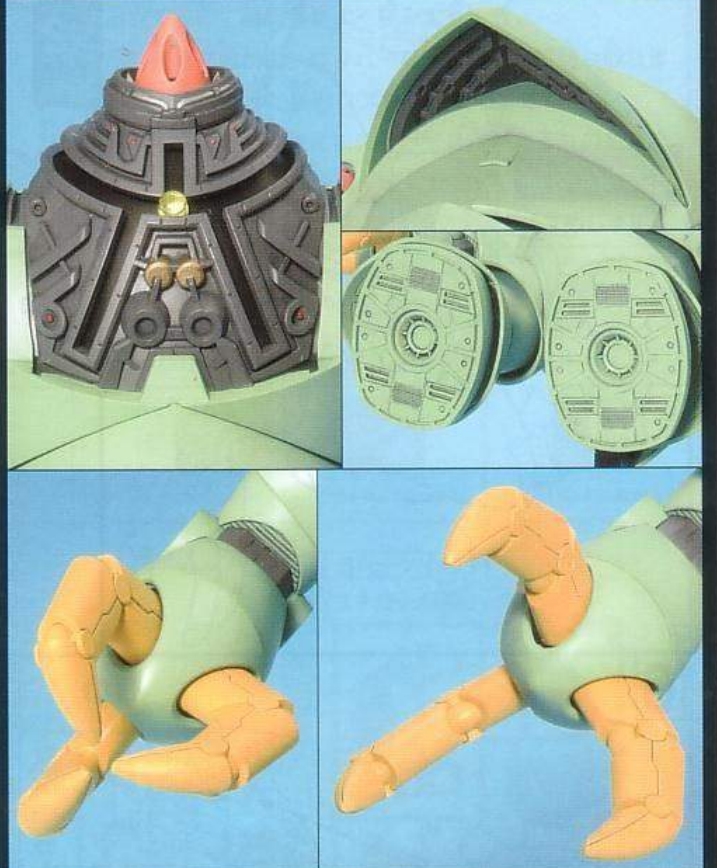
ACTION

アクションポーズ

DETAIL

各部ディテール

Scanned by Dalong.net



CRUISING MODE

巡航形態



※写真はバンダイプラモデル
アクションベース1 (別売り)
を使用しています。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等：



ホワイト(55%)
+イエローグリーン(20%)
+ニュートラルグレー(25%)

●アイアン・ネイル：



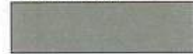
ホワイト(50%)
+イエロー(40%)
+オレンジ(10%)

●メガ粒子砲等：



ホワイト(60%)
+モンザレッド(20%)
+ブラウン(20%)

●内部メカ等：



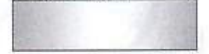
ニュートラルグレー(95%)
+ブラック(5%)

●モノアイレール底面：



ブラック(100%)

●モノアイ背面：



シルバー(100%)



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

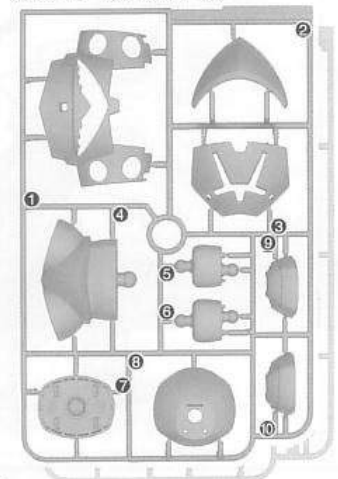
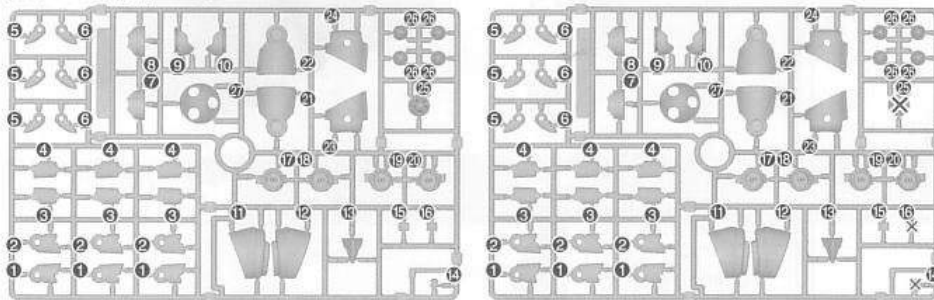
Bパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)

Aパーツ (×2)

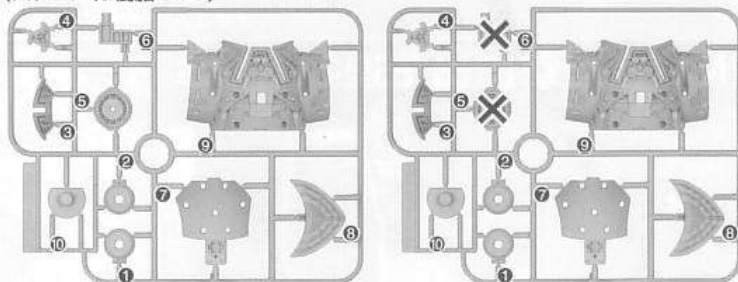
(スチロール樹脂: PS)

Scanned by Dalong.net

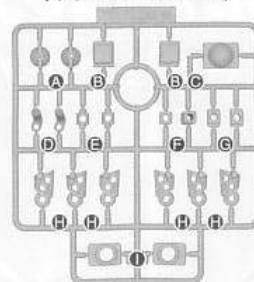


Cパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



<PC-131>
(ポリエチレン: PE)



●モノアイシールド……2
(PET樹脂: PET)

(ご購入のお客へ) 部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご購入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	モノアイシールド	B①・C②	その他の部品
部品代	80円	40円	各150円	各40円
郵送料	80円	80円	140円	120円

- ・電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時
- ・電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード

0150529-2500

1/144SCALE HG UC
ゾック

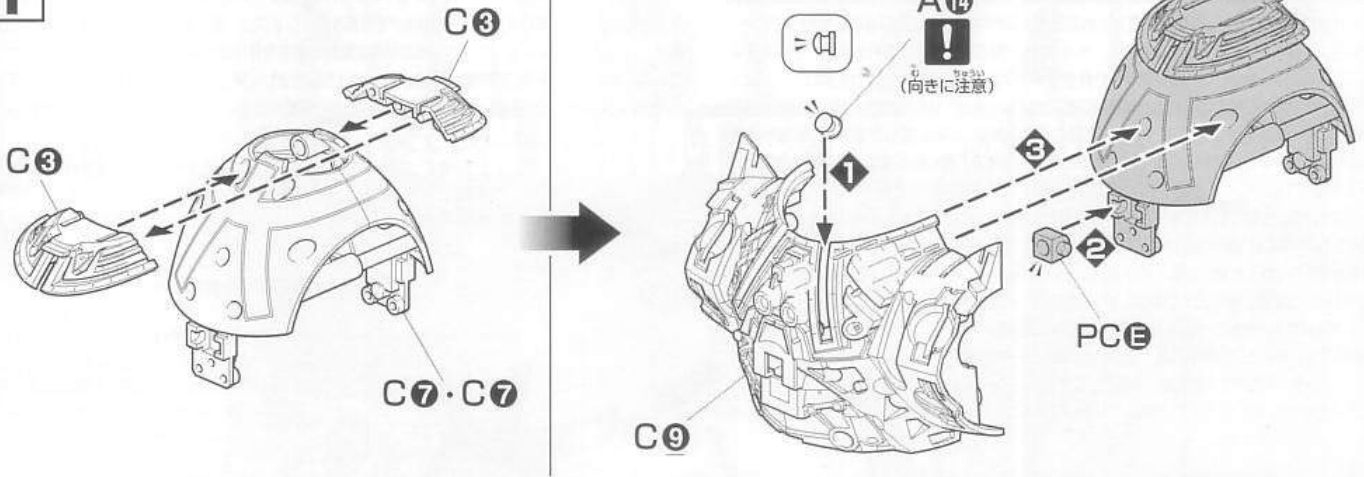
必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

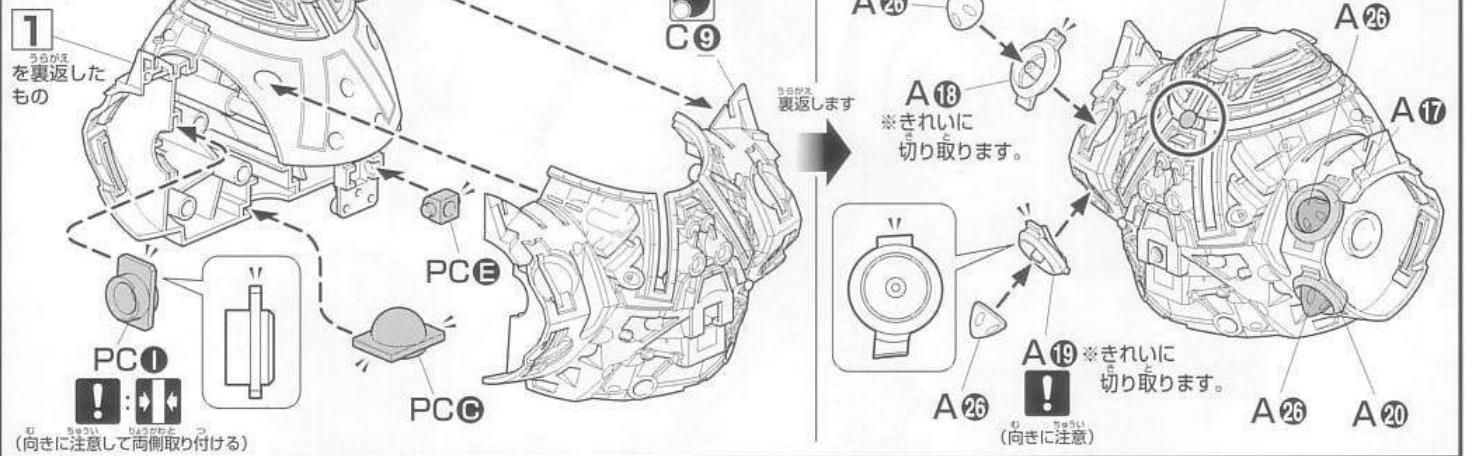
・日中ご連絡可能な電話番号 年齢
() () 才
R2001361 '07.07

※コピー使用可

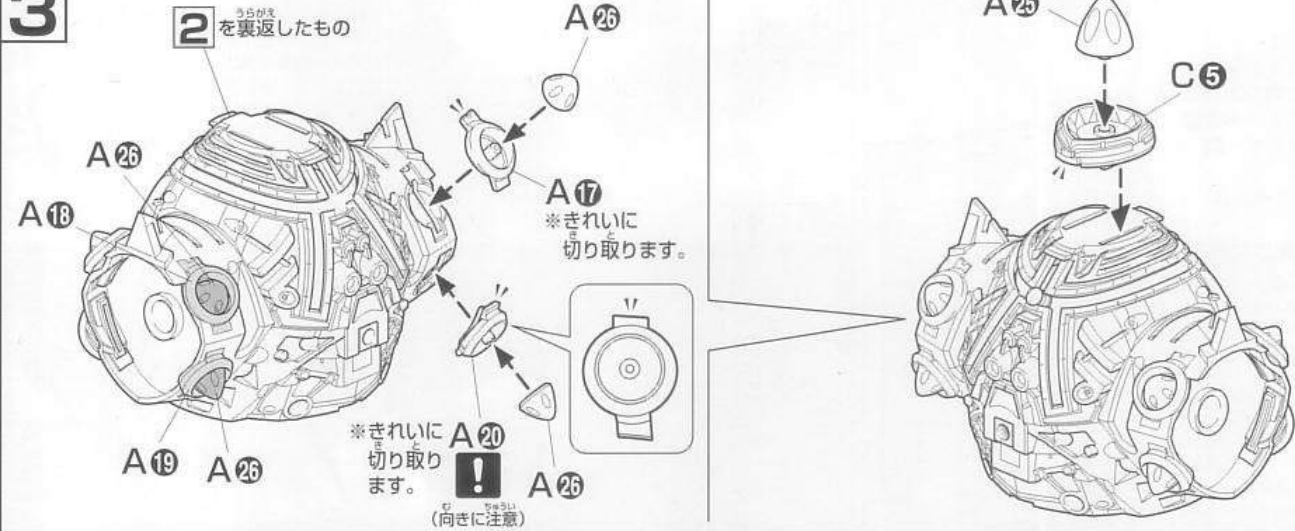
1



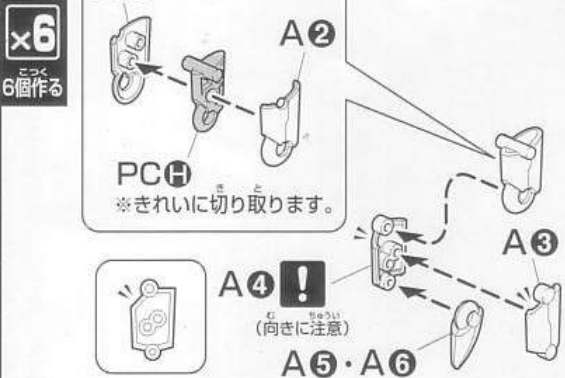
2



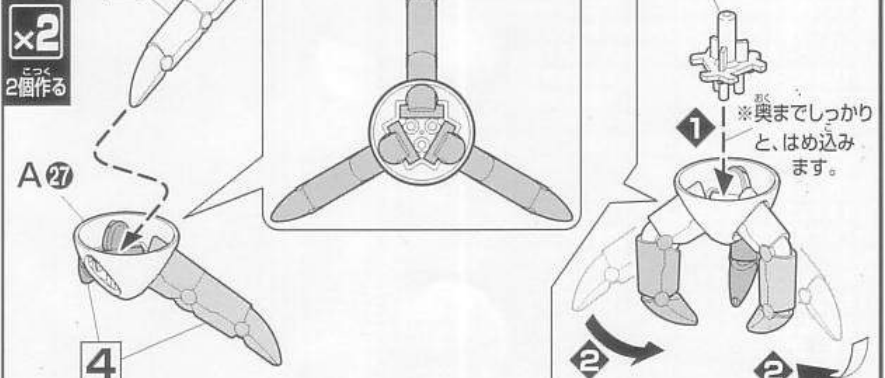
3



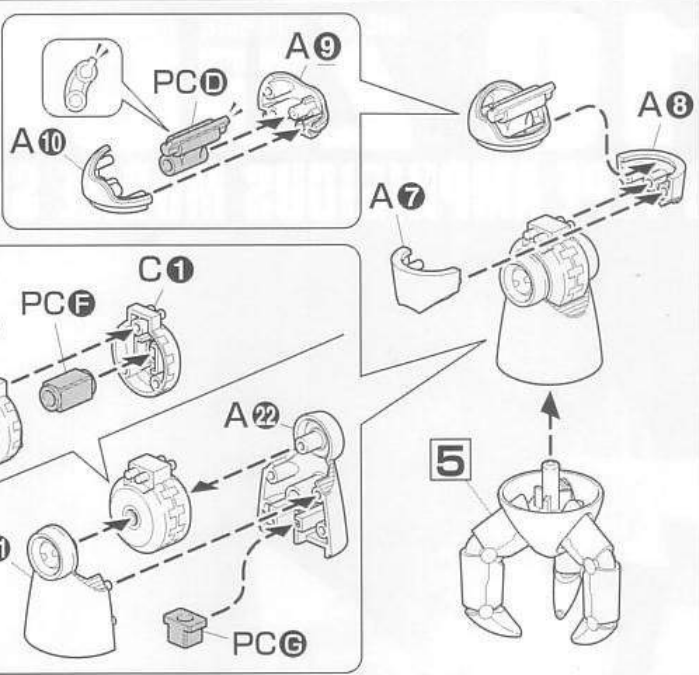
4



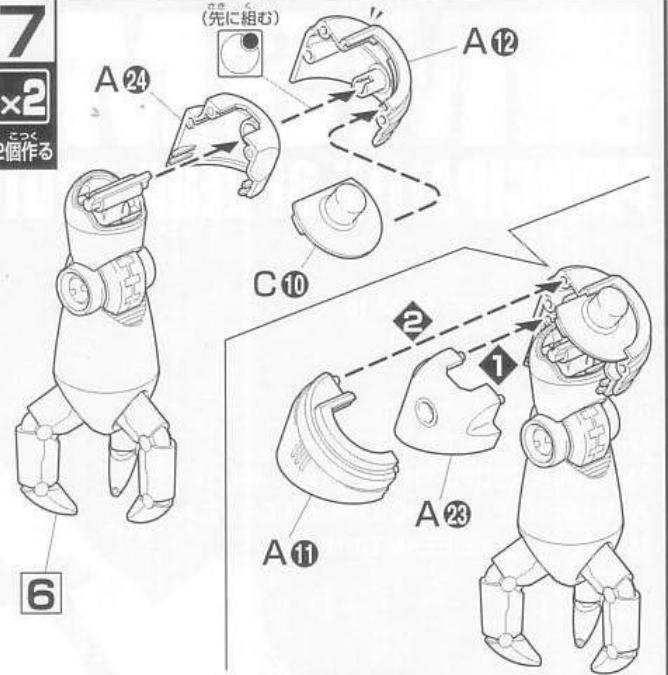
5



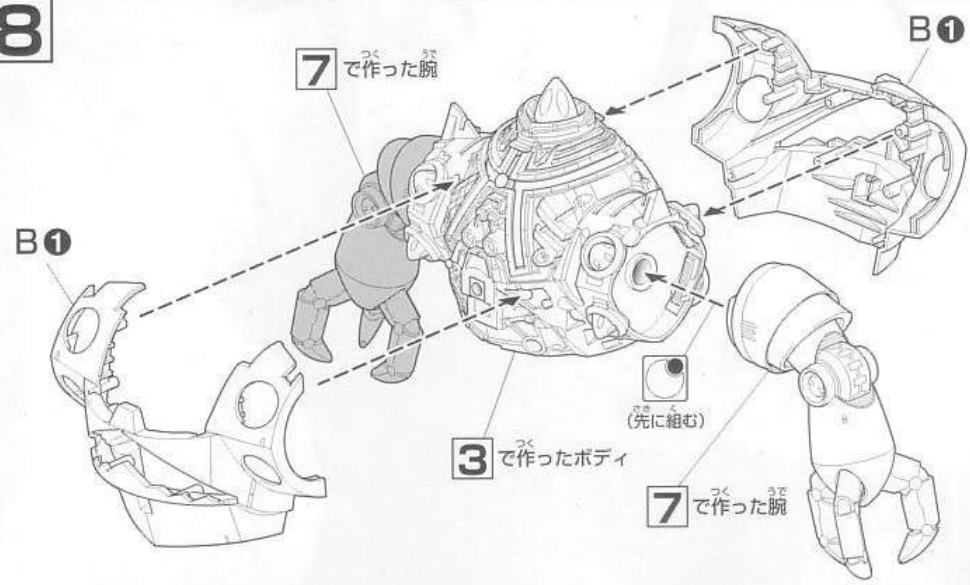
6
x2
こま 2個作る



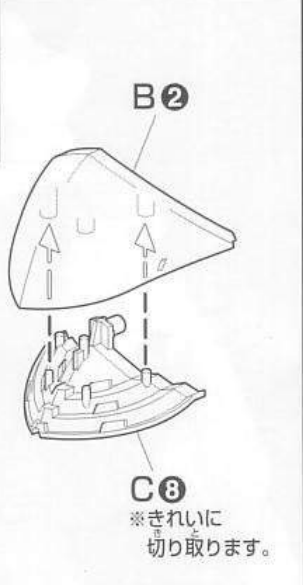
7
x2
こま 2個作る



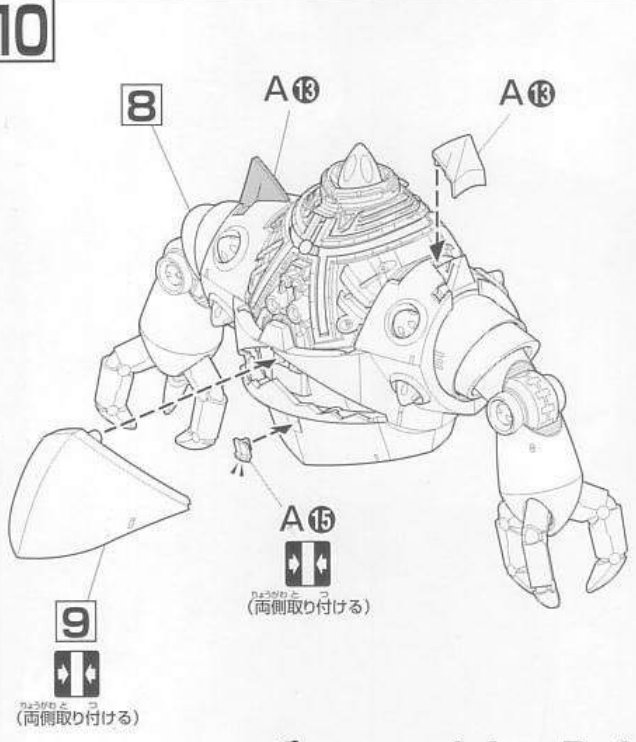
8



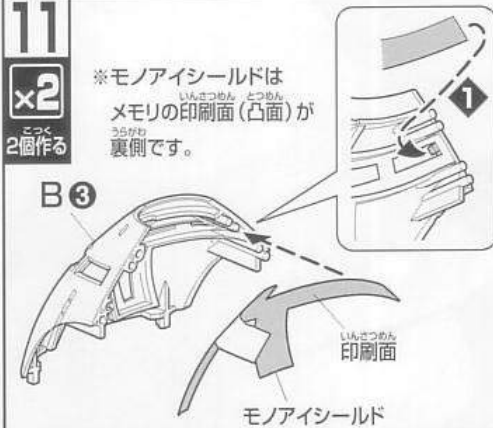
9
x2
こま 2個作る



10



11
x2
こま 2個作る



12

